

番号：141106

国名：モロッコ

担当：農村開発部農業・農村開発第一グループ第二チーム

案件名：小型浮魚資源調査能力強化プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2015年2月中旬から2015年3月下旬まで
- (2) 業務 M/M：国内 0.50 M/M、現地 0.73 M/M、合計 1.23 M/M
- (3) 業務日数：準備期間 5日 現地業務期間 22日 整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：2015年1月14日（12時まで）
- (4) 提出方法：専用アドレス（e-propo@jica.go.jp）への電子データの提出又は郵送（〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25 二番町センタービル）（いずれも提出期限時刻必着）

※ 2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ（ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html）をご覧ください。なお、JICA 本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ① 業務実施の基本方針 8点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制等 2点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ① 類似業務の経験 45点
 - ② 対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③ 語学力 18点
 - ④ その他学位、資格等 18点
- （計100点）

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	モロッコ／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

モロッコにおいて、水産業は外貨獲得と沿岸漁民の生計手段の観点から重要な産業の一つである。近海漁業ではイワシ・アジなどの小型浮魚が零細漁民の収入源として有用であるが、近年では漁獲量の減少が指摘されており、持続可能な漁業のために適切な漁業管理が求められている。このような現状からモロッコでは、「新漁業戦略（Plan Halieutis、アリュータス計画）」において科学的な水産資源評価に基づいた漁業管理の重要性を謳っている。

小型浮魚資源は広範囲に分布し資源量の変動が大きいことから、その資源評価が難しいとされている一方で、近年漁獲量の減少が見られる同資源の資源管理は不可欠であることから、資源評価の精度・信頼性を向上することが求められている。そのためには、「音響調査・解析の精度向上」とともに海況や生態系データなどの「補足情報の統合」により総合的な資源評価を行うことが求められる。

かかる状況の下、モロッコ政府は国立漁業研究所（Institut National de Recherche Halieutique : INRH）のカサブランカ本部及びアガディール地域センターにおいて音響調査の精度向上ならびに小型浮魚資源評価に必要な関連情報の統合、解析能力の強化を行い、INRH による小型浮魚資源の総合的な評価能力の強化を図るため、我が国に対して技術協力を要請した。

本プロジェクトは、カウンターパート（C/P）機関である INRH によって、小型浮魚資源の総合的な評価が継続的に実施されることをプロジェクト目標として、2010年7月より2015年6月までの5年間の予定で、2名の長期専門家（副チーフアドバイザー/資源動態解析・モニタリング、音響調査/資源生態）及びチーフアドバイザー/エコシステムモニタリング、業務調整、水産資源評価技術、水産海洋学等の短期専門家を派遣し、支援を実施している。

2013年3月に実施した中間レビューの時点では、対象魚種の包括的なデータベースは構築の過程にあり、INRH の新漁業情報システムの一部として2014年末までに同データベースが完成する予定であることを確認した。また、2011年に行われた INRH の組織再編の影響を受けたこともあり、プロジェクト協力期間前半の活動は、全般的に遅れ気味であることが指摘された一方、INRH の新体制の下で、モロッコ側 C/P と日本人専門家の相互理解が高まり、また、プロジェクト活動への参加を通じてモロッコ側 C/P の漁業資源評価の能力が向上していることが確認された。

今回実施する終了時評価調査は、2015年6月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2015年2月中旬）

- ① 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ② 既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③ 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他モロッコ側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成する。
- ④ 対処方針会議等に参加する。

（2）現地派遣期間（2015年2月下旬～3月中旬）

- ① JICA モロッコ事務所等との打合せに参加する。
- ② プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。
- ③ モロッコ側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投

入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。

- ④ 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤ 国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びモロッコ側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、合同評価報告書(案)(英文)の取りまとめを行う。
- ⑥ 調査結果や他団員及びモロッコ側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案(和文・英文)の取りまとめに協力する。
- ⑦ 合同評価報告書(案)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑧ 協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
- ⑨ 現地調査結果の JICA モロッコ事務所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間(2015年3月中旬～下旬)

- ① 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)を作成する。
- ② 帰国報告会に出席する。
- ③ 終了時評価調査報告書(和文)について、担当分野のドラフトを作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(1)～(3)のすべてとする。

- (1) 合同評価報告書(英文)
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します(見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい)。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2015年2月22日～2015年3月15日を予定しています。また本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括(JICA)
- イ) 協力企画(JICA)
- ウ) 漁業資源管理(JICA)
- エ) 評価分析(コンサルタント)

また、終了時評価調査実施時に派遣中のプロジェクト専門家は、以下のとおりです。

- ア) チーフアドバイザー/エコシステムモニタリング(短期専門家)
- イ) 副チーフアドバイザー/資源動態解析・モニタリング(長期専門家)
- ウ) 音響調査/資源生態(長期専門家)
- エ) 業務調整(短期専門家)

③ 便宜供与内容

当機構モロッコ事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舍手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員の調査期間については、職員と同乗することとなります。）

エ) 通訳備上

英語⇄フランス語の通訳を提供

オ) 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及び C/P の同行

カ) 執務スペースの提供

プロジェクトオフィス内の執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

① 本業務に関する以下の資料が JICA ナレッジサイト (<http://gwweb.jica.go.jp>) で公開されています。

- ・ 事業事前評価表
- ・ プロジェクト R/D (Record of Discussion)

② 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイト (<http://libopac.jica.go.jp/>) で公開されています。

- ・ モロッコ国 小型浮魚資源調査能力強化プロジェクト詳細計画策定調査報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000253627.html>
- ・ モロッコ王国 小型浮魚資源調査能力強化プロジェクト中間レビュー調査報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000016576.html>

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 本業務従事者は仏語による業務実施能力があればより望ましいです。
- ③ モロッコ国内での作業においては、JICA 安全管理措置を遵守するとともに、JICA 総務部安全管理室、JICA モロッコ事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。

以上